

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神作業療法評価学演習			必修	2	2	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
加藤 智也 他		C312	tomoya.kato		火曜日 12:00~13:00	
授業の目的・概要	精神機能作業療法において対象者と対象者を取り巻く環境の全体像を把握するための評価を実施できるよう、基本的知識・技術・態度について学修することが本演習の目的である。観察・面接評価および各種検査の方法を学生同士で実施し必要な技術の修得を目指す。本科目は 2 コマ連続の計 30 回の授業で実施する。					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	精神医学・作業療法評価学において学修した内容を十分に理解した上で講義・演習を受けることが望ましい。授業は演習が中心となるため、事前に教科書を読むなど予習をしておくこと。					
教科書	標準作業療法学 作業療法評価学 第4版 / 編：能登真一、山口昇、玉垣努、他 / 医学書院/2024					
参考書	ICF 国際機能分類—国際機能分類改訂版—編：障害者福祉研究会 中央法規出版 2008					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神機能評価の基礎的事項を説明することができる				RH (2)	
②	精神機能評価における観察・面接・検査法を説明できる				RH (2) ~ (4)	
③	精神疾患との関係性や回復状態に応じた評価を説明できる				RH (2) ~ (4)	
④	評価の結果を適切に解釈することができる				RH (2) ~ (5)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	精神機能作業療法評価学の基礎を学ぶ (作業療法評価とは何か)	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p3-5 及び提示資料の予習をする。	1	
2	精神機能作業療法評価学の基礎を学ぶ (精神とは何か：心/身, 自我/自己, 意識/無意識)	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p468-473 及び提示資料の予習をする。	1	
3	精神機能作業療法評価学の基礎を学ぶ (機能とは何か：心の働き, 能力可能性)	[担当] 加藤	講義・演習	事後に資料のポイントを整理する。	1	
4	精神機能作業療法における情報収集を学ぶ (評価過程と情報化(見える化)、分類と情報項目)	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p474-477 の予習をする。	1	
5	精神現象の多層性多次元性と ICF という分類法を学ぶ (国際生活機能“分類”とは何か)	[担当] 加藤	講義	事前に教科書 p5-10、参考書 p3-22 の予習をする。	1	
6	作業療法実践モデルにおける分類法を学ぶ (人間作業モデル, カナダ作業療法モデル)	[担当] 加藤	講義	事前に提示資料の予習をする。	1	
7	ICF の精神機能と精神医学の精神症状論を学ぶ (全般的精神機能)	[担当] 加藤	講義	事前に参考書 p58-68 及び提示資料の予習をする。事後に資料のポイントを整理する。	1	
8	ICF の精神機能と精神医学の精神症状論を学ぶ (個別的な精神機能)	[担当] 加藤	講義		1	
9	ICF の精神機能と精神医学の精神症状論を学ぶ (精神機能—精神症状を疾患別で整理する)	[担当] 加藤	演習		1	
10	ICF の精神機能と精神医学の精神症状論を学ぶ (精神機能—精神症状を疾患別で整理する)	[担当] 加藤	演習		1	
11	精神機能作業療法における観察と記録を学ぶ (参加観察、関与しながらの観察)	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p36-52, p478-485 及び提示資料の予習をする。	1	
12	精神機能作業療法における面接法を学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習		1	
13	精神機能作業療法の基礎を学ぶ (パーソナリティ論と社会生活機能)	[担当] 加藤	講義	事前に提示資料の予習をする。事後に資料のポイントを整理する。	1	
14	精神機能作業療法の基礎を学ぶ (ライフサイクル論・生活史と社会生活機能)	[担当] 加藤	講義・演習		1	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

15	精神機能作業療法における検査法を学ぶ	[担当] 加藤	講義	事前に教科書 p486-497 の予習をする。	1
16	集団における評価を学ぶ (コミュニティと集団の特性)	[担当] 加藤	講義	事前に教科書 p498-504 の予習をする。	1
17	精神疾患の回復過程とリカバリー論を学ぶ (精神科リハビリテーションとパーソナル・リカバリー)	[担当] 加藤	講義	事前に教科書 p509-511 及び提示資料の予習をする。	1
18	疾患別の評価事例を学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p514-539 の予習をする。	1
19	高齢期の精神・心理的特徴に関連した評価について学ぶ (意欲・抑うつ、廃用症候群など)	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p588-592 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
20	高齢期の精神・心理的特徴に関連した評価について学ぶ (全般的な認知機能)	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p588-592 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
21	高齢期の精神・心理的特徴に関連した評価について学ぶ(全般的な認知機能)	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p588-592 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
22	高齢期の精神・心理的特徴に関連した評価について学ぶ (全般的な認知機能)	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p588-592 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
23	認知症重症度、BPSD (行動・心理症状) 等の評価について学ぶ	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p592-604 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
24	認知症重症度、BPSD (行動・心理症状) 等の評価について学ぶ	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p592-604 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
25	高齢期における ADL 等の諸活動に関連する評価について学ぶ	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p604-611 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
26	高齢期における ADL 等の諸活動に関連する評価について学ぶ	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p604-611 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
27	高次脳機能障害に対する評価を学ぶ (注意・記憶)	[担当] 小沢	講義・演習	事前に教科書 p418-440 の予習をする。講義終了後確認テストを行い、フィードバックをする。(	1
28	高次脳機能障害に対する評価を学ぶ (遂行機能・社会的行動障害)	[担当] 小沢	講義・演習	事前に教科書 p418-440 の予習をする。講義終了後確認テストを行い、フィードバックをする。(	1
29	高次脳機能障害に対する評価を学ぶ (失語・失行)	[担当] 小沢	講義・演習	事前に教科書 p418-440 の予習をする。講義終了後確認テストを行い、フィードバックをする。(	1
30	高次脳機能障害に対する評価を学ぶ (失認・半側空間無視)	[担当] 小沢	講義・演習	事前に教科書 p418-440 の予習をする。講義終了後確認テストを行い、フィードバックをする。(	1
試	定期試験				

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	✓	試験後に模範解答を提示し解説する。学生は教科書、配布プリントを参照し要点を再確認する。
	②	✓	
	③	✓	
	④	✓	
	⑤		
	⑥		

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

		評価のポイント		フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	榎田 哲弥、小沢 健一			
教員の実務経験	本科目を担当する教員は作業療法士として 20 年以上の実務経験を有している。			
実践的授業の内容	臨床における評価治療で得た知見に基づき、実際の評価バッテリーを用いて展開する。また患者の症候や状態を画像・動画などで紹介し、視覚的な学びの手法として学生の理解を促す。			
そ の 他	<p>本科目は 2 時限連続の授業である。評価を学生同士で行うことで必要な知識・技術・態度の修得を目指すため、欠席等で迷惑のかからぬように各自体調管理等に留意すること。</p> <p>本科目は対面授業を実施するため、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。</p> <p>授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがあるので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意すること。</p>			